

様式第4号・その1（第7条関係）

令和 6 年 8 月 26 日

伊万里市議会議長 中山 光義 様

氏名 力武 勝範

令和5年度 伊万里市政務活動費収支報告について

伊万里市政務活動費の交付に関する条例第5条第1項により、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



様式第4号・その2（第7条関係）

令和5年度 政務活動費収支報告書

議員名 力武 勝範

1 収入 政務活動費 225,000 円

2 支出

項 目	金 額 (円)	備 考
研究研修費	32,220	
調査旅費	61,960	
資料作成費		
資料購入費	36,553	
広報費	117,419	
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他の経費	20,350	
合 計	268,502	

3 残 額 0 円

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

様式第5号・その1（第7条関係）

（1調査1枚作成）

研 究 研 修 費

（支出明細書）

研 修 内 容 又 は 目 的	現在、ほとんどの市町村議会で課題となっている事項について、学識経験者による専門的な意見や先進的取り組みがなされている議会の取り組み事例等を学び、伊万里市議会での活動の参考となることを学ぶため。		
研 修 年 月 日	令和5年10月25日 ～ 10月26日 /	宿泊の有無	有 /
研 修 場 所			
経 費 明 細 書			
会 場 費			
講 師 謝 礼			
出席者負担金			
会 費	9,000円 /		
旅 費	10,120円 /		
宿 泊 費	13,100円 /		
そ の 他 経 費			
合 計	32,220円 /		

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月20日

伊万里市議会 力武 勝範 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催(北九州市)

旅行者 木寺 智子、力武 勝範、盛 泰子

期 間 令和5年10月25日(水)～令和5年10月26日(木)

西日本総合展示場(北九州市小倉北区)

行き先

全国市議会議長会研究フォーラム
25日(13時～18時15分)、26日(9時～11時)

内 容

備 考

※網掛けは、見積書添付

(単位:円)

項 目		金 額	摘 要
運 賃		7,520	伊万里～小倉(往復)
宿泊料		13,100	13,100円×1日
交通費		2,600	1,300円×2日
計		23,220	

議長	局長	副局長	係長	係
☐	☐	☐	☐	☐

(運用方針) 様式1号

研究研修・調査実施申出書

伊万里市議会議長 中山光義 様

令和5年10月5日

氏名 力武 勝範

研修・調査	場所	北九州市小倉区 (西日本総合展示場)
	内容	全国市議会議長会研究フォーラム
実施年月日		令和5年10月25日(水) ~ 10月26日(木) 13:00~18:15 9:00~11:00 (宿泊の有無 ☒ 有 ☐ 無)
行程表 (行程・経路を詳しく記入)		25日 伊万里ー博多ー小倉 小倉泊 (スーパーホテル小倉南口) 北九州小北倉区京町 1-6-34 (093-541-9000) 26日 小倉ー博多ー伊万里



旅行者 木寺 智子、力武 勝範、盛 泰子

期 間 令和5年10月25日(水)～令和5年10月26日(木)

西日本総合展示場(北九州市小倉北区)
行き先

全国市議会議長会研究フォーラム
19日(13時～18時15分)、20日(9時～11時)
内 容

備 考

※網掛けは、見積書添付

(単位:円)

項 目		金 額	摘 要
運 賃		7,520	伊万里～小倉(往復)
宿泊料		13,100	13,100円×1日
交通費		2,600	1,300円×2日
計		23,220	

議長	局長	副局長	係長	係		

研究研修 調査実施報告書

令和5年11月10日

伊万里市議会議員 中山 光義 様

力武 勝範

研修・調査	場所	北九州市（西日本総合展示場 新館）
	内容	全国市議会議長会研究フォーラムin北九州
実施年月日		令和5年10月25日（水）～10月26日 （ 宿泊の有無 ☒ 有 ☐ 無 ）
【プログラム】 10月25日 1. 基調講演 片山善博 氏 「大正大学教授兼地域構想研究所長」 「躍動的でワクワクする市議会に」 2. パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 ■コーディネーター 谷 隆徳 氏 「日本経済新聞社編集員」 ■パネリスト 勢一 智子 氏 「西南学院大学法学部教授」 辻 陽 氏 「近畿大学法学部教授」 濱田 真里 氏 「Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表」 田仲 常郎 氏 「北九州市議会議長」 10月26日 1. 課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」 ■コーディネーター 江藤 俊昭 氏 「大正大学社会共生学部公共政策学科教授」 ■パネリスト 辻 弘之 氏 「登別市議会議長」 たぞえ麻友 氏 「一般社団法人WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員」 永野慶一郎 氏 「枕崎市議会議長」		



納税者の代表である議員が同意するかどうかである。

固定資産税率は自治体独自で変更できる。

予算計上されているすべての事業が、学校施設の改修より優先させなければならない事業なのか。必ずしもそうでない事業もある。そのような議論が行われていない。住民を含めて税の議論を行う。

○住民の声が聞こえない

議会や委員会にほとんど来られない。

現行の議会の権限を活用してもっと積極的に、かつもっと議案を丁寧に審議しなければならない。執行部の提案説明をうのみにしないこと。嘘まではいかないが、上手に話す。本質をぼかす。

ある議会の文教委員会の中での中学校の統廃合問題の審議

*議員からの質問＝保護者の反対がまだ強いのでは。

*教育長の答弁＝以前は反対が多かったが今はそのようなことはない

*後で分ったこと＝小学校の保護者でかつ市の職員から、実はまだ反対されている保護者が多くいるとのこと。

委員会に保護者に来てもらい市民の声を聞くという方法もある

○教育委員会の問題

国家の最重要の行政課題＝義務教育の現場が疲弊している。いじめの問題等、先生があまりにも忙しすぎる。

学生間では、先生はブラック企業とみられている。

教員の多忙化の解消＝なかなか解決できていない。企業であれば早急に解決するだれの責任か！＝義務教育の教員管理は教育委員会である。

教員は県の職員で、市で増やすことができない。教員定数は国で決まっていて、それに基づき国が費用を負担している。ただし、増員分の費用を県と市が折半し負担すれば増員できる。

教育委員会が本当に機能しているのか（教育委員の任命）

機能していないときの責任は、議会にある。議会で承認する時に、しっかりと審査すること

○男女共同参画、三重県、女性の管理職が日本一

男女共同参画4・6条例

各種委員会のメンバー女性比率を4割～5割とする

男性の育児休業取得比率日本一

知事時代に、議会中に職員を育児休業させるため、議長の承諾をお願いしたとき、議長から条件として、休業明けの議会で育児休業の体験談を話させること。

その後、議会で体験談の話がなされ、評判となり男性職員の育児休業が増加した。

◆パネルディスカッション「統一地方選挙を振り返る」

★勢一 智子 教授 西南学院大学

○第33次地方制度調査会

「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する

*人口規模に応じて多様な執政制度の選択を可能にしなければならない。

*同じ市といえども、人口370万人の市から1万人を切る市まで多様。それに合わせて、議員報酬の額も多様。議員報酬が月額20万円を切る自治体もある。

*人口規模が大きな自治体では、議員報酬だけで生活できる。つまり「専業化」できるが、そうでない自治体では、「兼業」しないと生活できない。

○議員のなり手不足の問題における小規模自治体の課題

*首長と議会とが同じ住民の代表として対峙する「二元代表制」としての理想は、議会議員についても議会活動に専念できる「専業化」の環境を整えること。

*実際問題として、議員報酬を増額することは困難であり、小規模自治体ほど財政力指数も小さく、一般会計に占める議会費の割合が大きい傾向にある。

*議員としてのやりがいと直結する政務活動費の額も、少ないか不支給で、自らの懐から持ち出して議員活動する余裕がない。

*結論として、小規模自治体において議会活動に専念することには相当困難である。

★濱田 真里 氏 「Stand by Women」代表

「女性議員のハラスメント相談センター共同代表」

○地方議員に対するハラスメントの現状

立候補検討中、または立候補準備中に、有権者や支持者、議員等からハラスメントを受けた人 男性=58.0%、女性=65.5% (全体=61.8%)

○議員活動や選挙活動中に受けたハラスメント

①性的、もしくは暴力的な言葉（ヤジを含む）による嫌がらせ

(女性=26.8%、男性=8.1%)

②性別に基づく侮辱的な態度や発言 (女性=23.9%、男性=0.7%)

③SNS、メール等による中傷、嫌がらせ (女性=22.9%、男性=15.7%)

④身体的暴力やハラスメント (女性=16.6%、男性=1.6%)

⑤年齢・婚姻状況、出産や育児などのプライベートな事柄についての批判や中傷

(女性=12.2%、男性=4.3%)

○「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律」

2021年6月公布・施行

国及び地方公共団体は、セクハラ・マタハラへの対応をはじめとする環境整備等の施策の強化をすることとする

○地方議員が回答したハラスメントをなくすために有効な取り組み

①選挙管理事務局、政党、議会事務局等での相談窓口の設置

②有権者、支援者、議員への啓発や研修

③監視機関の設置

④議員向け研修

⑤ハラスメント防止のための倫理規定の整備

○都道府県議会のハラスメント対策

①独自のハラスメント対策を実施している議会 15議会

◆【課題討議】

「議員のなり手不足問題への取組報告」

＜議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く～なり手不足の問題を再認識する＞

○無帳票当選 市長選挙28.4%、区長選挙9.1%、市議会議員選挙3.6%、
町村長選挙56.0%

○投票率の低下 市議会45.6%、町議会59.7% (2019年)

○議員のなり手不足の要因

*議会・議員の魅力が伝わらない、条件の悪さ(低い議員報酬)

*地域力の低下、法律による縛り(兼業禁止など(自治法改正2023年12月))

○解消法

*議会報告会・市民との意見交換会、政策サポーター、議会モニター

*新しい層の開拓(多様性の充実):女性・若者

*条件整備:新しい原価方式の導入(報酬増額)、政務活動費の充実等

★辻 ひろし 氏 「登別市議会議員」

○「GREENSEED21」

戦後50年目の1995年 北海道庁職員と地方議員が集い結成

「地方で生きる人たちの幸せ」のために「自らが行動を起こし・改善する」活動を
続けている

30周年が近づく中で地方議員の将来を担う人材を育成し、地方議会に新たな価値を
創造していくべきとの声に＝地方議員養成講座開講

○地方議員養成講座

*参加者＝大学教授・企業経営者・現職首長・地元住民・元道選管・現職議員

*受講者の属性＝男性が約3分の2、4割が40代以下・7割が生産年齢、
行政職員13名、医療・福祉11名、会社員10名

*統一選での立候補者＝受講者の60%(30名)が立候補し、20名が当選

○地元議員養成講座(じもと版)＝ミラ★ブリ＝未来へいぶりをつなぐ会

*行政や議員の使い方、まちの仕組みを学び、未来のリーダーを育てていく。そんな
コンセプトで、胆振圏域を中心とした地方議員や経済人、地域活動人が集まる
勉強会

*胆振版の地方議員養成講でもあり、将来地方議員を目指している、関心がある方。
初当選議員には基本を学び人脈作りの場。

議員にはならないが、行政や議員を使いこなせるようになりたい方

★たぞえ麻友 氏 「一般社団法人WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員」

○「一般社団法人WOMAN SHIFT」＝届きづらい女性の声を政治につなぎ、1つずつ実
現していく

*2015年8月団体設立(2022年一般社団法人化)

*超党派議員ネットワーク形成

*議員を応援したい、関わってみたいという市民との繋がりや活動の創出

最高決定機関の議決の場である議場での議論が少ないのは確かである。ただ委員会等での議論はなされているものの、市民には届いていなく、議論の中身が期待されるほどではないと思われる。

委員会のネット公開も考えられているが、実際に公開されたときに、これまでのような議論で果たしていいのか、逆に市民から批判を受けるのではないかとと思われるような質疑も見受けられる。

広報公聴での意見交換会の場も必要であるが、その前に議員としての資質の向上がなければ、議会・議員に対する信頼は向上しないと思われます。そのためには、議会として政策や議案に対する勉強会を、積極的に実施する必要があるのではないかと感じました。

議員のなり手不足の問題については、幸いにも伊万里市議会において立候補者は多いほうであるが、将来的問題としては大きな課題である。

議員に魅力を感じさせるような活動は、現職議員の務めでもある。

伊万里市議会の現状を振り返り、現在町ごとに議員が存在しているが、中には地区から出られている方を支援することが当たり前、どのような方であろうが地区に一人は必要であるとの考え方が、議員の質を落としかねない問題も秘めていると思われる。

現職議員が常の学び、積極的に発言し、市民との交流・情報提供など、議員活動を周知することで議会・議員に対する信頼と議員に対する魅力を感じてもらえるのではないかと考えます。

現在、伊万里市議会で任意組織として活動している政策研究クラブは、議員の資質向上のための活動であり、これまで以上に充実した内容にしていくことが求められると感じています。

様式第5号・その2（第7条関係）

（1調査1枚作成）

調 査 旅 費

（支出明細書）

調 査 目 的	①LBBTフレンドリーに関する取組について ②議会改革について ③多文化共生推進の取組について
調 査 地	①岐阜県関市 ②岐阜県可児市 ③愛知県西尾市
調 査 年 月 日	令和6年1月16日 ～ 令和6年1月18日 （ 宿泊の有無 ☒ 有 ☐ 無 ）
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	61,960円
そ の 他	
合 計	61,960円

政 務 活 動 費 旅 費 計 算 書

旅行者 香月議員、盛議員、力武勝範議員、松尾真介議員、金原議員、川添議員

期 間 令和6年1月16日（火）～令和6年1月18日（木）

行き先 ①岐阜県関市、②岐阜県可児市、③愛知県西尾市

内 容 ①LGBTフレンドリーに関する取り組みについて
②議会改革について
③多文化共生推進の取り組みについて

備 考

※網掛けは、領収書添付

（単位：円）

項 目	金 額	摘 要
運 賃	3,680	伊万里～福岡空港（往復）
		①福岡空港～中部国際空港（往復）※パック料金に含む
	5,580	中部国際空港～関市～可児市～西尾市～中部国際空港
飛行機＋ホテルパック（朝食付き）	46,900	13,100円×2日
食卓料（夕食代）	3,400	1,700円×2日
交通費	2,400	800円×3日
計	61,960	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

領 収 書

発行 No.AJP0001196552
表示日: 2024年01月11日

下記、正に領収いたしました。

宛名 盛泰子、力武勝範、松尾真介、香月孝夫、金原晋作、川添
智徳 様

金額 ￥281,400 — 内消費税額 ￥25,581
※但し、航空券代・宿泊代等として(銀行振込)

予約番号 AJP3ACF2TY

旅行期間 2024年01月16日 ~ 2024年01月18日

決済日 2023年12月21日

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



株式会社リクルート

〒100-6640

東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサウスタワー

登録番号:T5010001149426

議長	局長	副局長	係長	係		
						

研究研修・調査実施報告書

伊万里市議会議長 中山 光義 様

下記のとおり 研究研修・調査を行いましたので報告します

令和6年2月5日

力武 勝範 

実施年月日	自 令和6年1月16日 至 令和6年1月18日 3日間 宿泊 ☒ 有 無
場 所	岐阜県関市、岐阜県可児市、愛知県西尾市
目 的	関市：LGBTフレンドリーに関する取り組みについて 可児市：議会改革について 西尾市：多文化共生推進の取組について
内 容 感 想 等	「別紙のとおり」



視 察 報 告 書

■関市「LGBTフレンドリーに関する取り組みについて」

関市では、性の多様性を認め、すべての市民がお互いを尊重し合い、誰もが自分らしく暮らせることを目指し、平成28年8月10日に「LGBTフレンドリー宣言」をし、LGBTに対する配慮に向けた取り組みを始められており、その取り組み内容を視察しました。

●「LGBTフレンドリー宣言」のきっかけ

当時の尾関市長が、「LGBTマーケットの可能性を探る」と題した講演会を受講され初めて「LGBT」についての基本的な認識を持たれ、知らず知らずのうちに人を傷つけることもあると気づき、関市第4次総合計画後期プラン（平成25年4月～平成30年3月）の中での「一人ひとりの個性や多様性を認め合えるまちづくりをめざす」の中に「LGBT」も含まれるとして宣言に至ったとのことである。

●条例や各計画での位置づけ

「みんなが輝くまち関市男女共同参画推進条例」

- ・性同一性障害等に対する差別的取り扱いを行ってはならない（第9条第4号）

「関市第5次総合計画」

- ・自分らしくありのままで暮らせる共生社会の実現

「第3次せき男女共同参画まちづくりプラン」

- ・多様な性の在り方の理解促進

●取組内容

★職員への啓発・環境整備

*LGBTフレンドリー研修

LGBTフレンドリーなまちを市の施策として推進する市職員、多感な時期の子どもたちに関わる教職員への啓発や意識改革を目的に開催されている。

- ・毎年継続し、新規採用職員は必須としている
- ・これまで延べ818名が受講されている
- ・研修を受講した者には、LGBTを理解していることを証明する缶バッジを配布されている。

*市役所の職場環境の見直し

結婚祝い金等と弔慰金について、同性パートナーがいる職員に対して、申告により給付できるように職員互助会制度を見直しされ、これまでに1名に結婚祝い金を給付された。

★市民に向けて

*ダイバーシティSEKIシンポジウム

市内高等学校、市内大学と協働して、多様な性のあり方について考えるきっかけとなる市民対象イベントを定期的実施している。

*公文書等における性別表記の見直し

平成29年12月14日に、印鑑登録証明書の記載事項から性別欄を削除

市が独自で作成する申請書等のうち、性別欄の削除が可能なものであるものについて、調査及び検討をし、61の申請書から性別欄を削除した。

男女の表記が必要な場合は、「自認する性をお書きください」など、注釈として

「自認する性」と表記するよう市内で統一されている。

***みんなのトイレステッカー**

市役所庁舎やわかくさ・プラザなど市の27施設61箇所の多目的トイレに「みんなのトイレステッカー」を貼り、誰もが利用しやすいトイレ表示にしている。

★小中学校への啓発

***LGBTハンドブック**

市内の全中学校の生徒向けに、LGBTハンドブック「イチから学ぼうLGBT」を作成し、配布されている。多感な子どもたちの学校生活での環境改善に向けて、当ハンドブックを活用して、各学校で授業等を行われている。

***漫画による啓発パンフレット**

「より多くの方に正しくLGBTについて知ってほしい」、「幼少期からの異性愛が普通という概念を変えたい」という思いのもと、LGBTを研究している関高等学校生徒3名が作成された。市内小中学校の各クラス、保健室、図書室、または市内ふれあいセンター等の施設に配布されている。

***小学生向け紙芝居**

多様な性のありかたを知り、多様な生き方を認め合えることを啓発する、小学生向けの紙芝居「いろいろってなんだろう」を、関高等学校、中部学院大学と提携して作成されている。市内19の小学校に1セットずつ配布されている。

★当事者に向けて

***LGBTQレインボー交流会**

性的マイノリティ当事者及びアライが、LGBTフレンドリーなまちで自分らしく暮らせることも目指し、日常生活での悩みを相談、共有できる交流会を実施されている。（令和3年度2回、令和4年度3回）

★その他

***Working Rainbow EXPO出展**

LGBTやダイバーシティの取組をしている・推進したいと思っている企業・行政・団体と、アライ学生、LGBT、アライ社会人が、年齢や業種を超えて「自分らしく働く」ことについて考えるイベントに出展し、関市の今までの取り組みや、参加者との交流が行われた。

（アライ（ally）とは「味方」を意味する単語で、そこから転じて「LGBTを理解・支援する人」を指します。）

***出前講座**

性の多様性に関する基礎知識を学び、理解を深めるために出前講座を行われている。（時間：1時間 内容：性の多様性の理解・関市の取組紹介）

★これまでの取り組みでの効果

市民アンケート（せきのまちづくり通信簿）における「Q：LGBTという言葉とその意味を知っていますか」の回答。

2017年度 知っている＝27.8% 2021年度 知っている＝62.1%

★令和4年4月「パートナーシップ宣言制度導入」

性的少数者に対する配慮に向けた取り組みのひとつとして一方又は双方が性的少数者である2人を対象とした、パートナーシップ宣言制度を岐阜県で一番最初に導入さ

れた。

■所感

LGBTの方を知っていても、その方々が普通に暮らせているのか、生きづらさを感じられているのではないかなど考えたことがなかった。

伊万里市でも、平成13年に「伊万里市・男女共同参画都市宣言」を行っていることを再確認しました。

伊万里市・男女共同参画都市宣言

わたしたちは 人間としての自立と平和の理念のもとに性別を超え世代を超え多様な生き方を認め合い男（ひと）と女（ひと）が力を合わせ新しい“いまり”の歴史を創りあなたらしくわたしらしくすべての人がきらめくまちを目指してここに「男女共同参画宣言都市」となることを宣言します

- ・ 1. わたしたちは ひとりひとりが自立し認め合いいきいきと暮らせるまちをつくります
- ・ 1. わたしたちは 自らの意思で 社会のあらゆる分野に平等に参画できるまちをつくります
- ・ 1. わたしたちは 家庭や地域で責任を持って協働し分かち合い支え合うまちをつくります
- ・ 1. わたしたちは 国際的協調のもと 男女共生の明日を築き人を愛し平和を愛するまちをつくります

平成13年1月13日

伊万里市

今回の関市の取組を視察し、改めてこの宣言を市民と共有し、性の多様性を認め、すべての方がお互いを尊重し、誰もが自分らしく暮らせるまちにすることの必要性を認識しました。

■可児市議会「議会改革について」

可児市議会では、平成23年に議会改革のための市民アンケートを実施され、アンケートから見てきた厳しい現状と議会改革を進める必要性を再認識され、積極的に議会改革を実施されている。今回可児市議会における議会改革の取組内容やその方法について視察を行いました。

●議長職及び各常任委員会の引継ぎ事項

議長選の前に議長の引継ぎ事項を提出させ、所信表明で引継ぎ事項に対する考えを述べさせる。各常任委員会においても引継ぎ事項をまとめ、政策課題について継続して所管事務調査が行われるようにされている。

●決算審査による予算編成への提言

決算審査において予算決算委員会で所感ごとに分科会を開催し、自由討議の上、全会一致で提言内容を決定。次年度予算編成にどう反映されたのかを受ける。

●ハイブリットの議会報告会

参加者の希望に応じ対面とオンライン参加を併用し開催

令和4年11月（第23回）

第1部＝全体「令和3年度決算は？」（予算決算委員会）

第2部＝意見交換会

「可児市の魅力発信について」（総務企画委員会）

「外国籍の“まなぶ・はたらく”を考えよう」（建設市民委員会）

「保護者から見た学校・教育の課題」（教育福祉委員会）

●一般質問からの所管事務調査

* 土壌処理施設着工計画に関する一般質問（平成28年12月定例会）

（生活環境・交通安全の問題）

* 平成29年2月＝所管事務調査：建設市民委員会行政視察

* 建設市民委員会引継ぎ事項

* 平成29年10月 秋田県大館市行政視察

●委員会代表質問

委員会機能のさらなる充実のために実施している。

委員会全員の一致で行う執行部への問いかけの影響力は大きく、より今後の政策につながられるのではないかと。

* 各議員の一般質問から代表者質問へ

* 委員会の所管事務事項から代表者質問へ

* 議会報告会から委員会代表者質問へ

総務企画委員会「災害時の情報発信及び災害対応本部の体制について」

建設市民委員会「汚染土壌処理施設への対応について」

教育福祉委員会「小中学校2学期制への移行について」

●高校生議会

* 第8回高校生議会（R4.3.25）

コロナ禍のため、生徒と議員のグループディスカッション形式ではなく、成果発表として活動報告やマニフェスト提案などが行われた。

第1部「可児高等学校のコアメンバーの生徒が調査・研究を進めている3つのプロ

ジェクトに関する報告」。

第2部「R3年11月に校内で実施した模擬選挙も立候補者の選挙公約をもとに市への提案を行う。

●第9回高校生議会（R5.3.24）

可児高等学校 探求学習の成果発表

●2年生 コアメンバーによる活動報告

①アーラ（可児市文化創造センター：ala）と協力した児童の交流

②可児IT塾とコラボした地元企業紹介ビデオ作成

●1年生による活動報告

①里芋を活用した地域振興

②休耕地の有効活用に向けての農業振興アプリの提案

●模擬選挙（H28.3.25）

●模擬選挙前に、生徒を中心に選管職員、議員を交えて5回の打ち合わせ。

●生徒による争点の抽出とマニフェスト案の作成。

●候補者の演説会、グループディスカッション、模擬投票を実施。

内容：生徒代表者による趣旨説明

候補者3名による立会演説会

生徒1・2年生全員が6年程度のグループに分かれマニフェストの検証

本番同様の投票用紙等を使って模擬投票

生徒による開票

●模擬投票を行ったことで、参院選における高校生の投票率が上がった。

岐阜県聖徳学園高校95人中72人が投票 投票率75.8%

可児高校生徒87人中79人が投票 投票率90.1%

●子ども議会（平成16年より毎年実施）

●令和2年11月17日帝京大学可児小学校6年生41名

内容①議会ってどんなところ。

②議会体験をしてみよう（やめることを選択させる）

「財政難の中どの事業を廃止するか意見を出し合い、最後に採決を行う」

1) 子供医療費の廃止 2) お年寄り向け無料バスの廃止

3) 市立図書館の廃止 4) 市民温水プールの廃止

●正副委員長に対する議選監査委員による報告会（毎定例会実施）

定期監査、例月出納検査、企業会計の報告

■所感

可児市議会議員のほとんどが、二代表制での議会とは・議員とは何をすべきかを十分理解され、市民福祉の向上のため積極的に活動されていることに感心しました。

積極的な議会改革の根底にあるのが、議員研修の充実ではないかと思われます。議員の質が向上しなければ積極的議論ができず、様々な企画立案も生まれてはこないと思われる。

特に常任委員会を核とした議会活動は参考にすべきところであり、有識者による議員研修の充実も必要である。

■西尾市「多文化共生推進の取組について」

西尾市の人口は、2022年1月現在で170,861人、うち外国人市民は9,911人と、人口に占める割合は5.8%（愛知県の人口に占める割合3.6%、全国での割合2.3%）と、全国平均や愛知県の中でも高くなっている。西尾市は、外国人市民の滞在、在住期間の長期化に伴い、生活に密着した教育や福祉、災害時対応等さまざまな領域で多様化、複雑化した問題が発生し、従来の外国人支援の視点を超えて生活者・地域住民として外国人がもたらす多様性を活かす視点が必要となってきたことから、「西尾市多文化共生推進プラン」を作成され、多文化共生を取り巻く課題や基本的な考え方を整理するとともに、外国人市民、日本人市民がおなし市民として多様な価値観を認め合い、お互いの理解と尊重のもとに市民、市民団体、企業等各種団体と行政が協働して多文化共生のまちづくりを総合的かつ体系的に展開されています。

伊万里市においても、外国人居住者が令和5年9月で775人と、西尾市に比べ少ない状況ではあるが、年々増加傾向にあり、今後外国人居住者との共生に向けた取り組みが必要になってくることで、今回西尾市の多文化共生推進の取組を視察しました。

●国籍別人口（2024年1月 合計11,290人）

ブラジル（3,725人）、ベトナム（3,338人）、フィリピン（1,584人）

インドネシア（887人）、ペルー（493人）、その他の国（1,263人）

●外国にツールを持つ児童数（小学校別）（R4.4現在）

西尾市全小学校26校中22校に外国にツールを持つ児童495人が通学されている。

西野町小（52人：17.0%）、花ノ木小（65人：10.0%）、鶴城小（69人：9.3%）

●西尾市の取組

*外国人相談窓口の設置

2020年度から、外国人市民が生活に関する情報や相談場所に適切・迅速に到達できるよう、多言語で情報提供や相談を行うワンストップ型の「外国人相談窓口」を設置されている。ポルトガル語、ベトナム語の相談員各1名が窓口相談を行うとともに、多言語テレビ電話通訳（13言語）での外国人相談窓口の対応が行われている。

*外国人市民向けYouTube「にしおdeこんにちわ」

情報の動画化の促進として、2022年1月にYouTubeチャンネルを開設し、制度の説明や申請書の書き方、ごみの分別方法、イベント情報など「やさしい日本語」「ポルトガル語」「ベトナム語」の3言語で配信されている。

*外国人向け広報誌の発行、ICTを活用した情報発信

- ・「やさしい日本語」「ポルトガル語」「ベトナム語」の情報誌（毎月発行）
- ・転入時における多言語ガイドブック（6言語）、ごみの出し方（4言語）等の配布
- ・ICT自動翻訳機能を活用した多言語対応（市公式ウェブサイト、広報にしお、防災アプリ等）
- ・SNS（Facebook）、さんあ〜る（ごみ分別アプリ）等の配信
- ・自動翻訳機の活用

*日本語能力試験受験助成金

外国人市民の主体的な日本語学習意欲を支援。助成申請者に対して、2,000円分の商品券（QUOカード又はJCBギフト券）を支給されている

（日本語能力試験は、日本語を母語としない人たちの日本語能力を測定し認定する試験で、学校の単位、卒業資格認定や企業での優遇、社会的資格認定など様々なメリッ

トがある)

*** 西尾市青年国際ワーキングキャンプ派遣事業**

「世界の地域の課題に対し、現地の住民と共に活動する合宿型のボランティア（国際ワークキャンプ）に、西尾市内の青年を派遣することで、派遣先国の青年と共に活動しながら交流、切磋琢磨することを通じ、将来の西尾市を担う豊かな国際感覚を身に着けた青年を育成する。

・ 2023年度 愛知県西尾市 国際ワークキャンプ事業 ベトナム Mai Chau

期間：2023年9月1日(金)～10日(日)（10日間）

参加者：団員10名 + 西尾市職員1名 + NICE職員1名

活動内容：①水タンク作り、トイレ作り ②子ども達に英語を教えたり、遊ぶなど

参加費用：約27万円（市から10万円の補助）（個人負担約17万円）

*** 防災、医療・福祉、感染症流行等の非常時対応**

・ 防災啓発、災害時支援等を協働する外国人市民の発掘及び育成

防災等の知識や技術を習得し、平常時では同郷の外国人市民を中心に防災啓発を実施し、災害時には支援者となれる人材（多文化防災リーダー）の発掘及び育成がなされている。

■所感

伊万里市においても、市内企業の製造業はもとより近年は農業、福祉・医療などの分野でも技能実習生の受け入れが増加している。慢性的な人口減少の中、企業や事業所の人手不足を補うには、外国人労働者の受け入れは欠かせなくなっており、行政としても企業が技能実習生等の受け入れを推進できるような環境整備は必要である。現在、黒川町や川内野地区、炭山地区等でまちづくり事業の中で、外国人居住者とのふれあい活動がなされてきている。このような活動が継続的にお行われ、外国人居住者も住みやすいまちにするよう、私たちに出来ることを検討していきたいと感じています。

様式第5号・その4（第7条関係）

（年間分）

資 料 購 入 費

（支出明細書）

経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
図 書	図書名		
月 刊 誌 等	誌名		
新 聞 購 読 料	新聞名 日本農業新聞	28,853	
	全国農業新聞	7,700	
家庭用新聞名	佐賀新聞		経費に含まない。(第1紙)
そ の 他			
合 計		36,553	

領 収 証

No. 1 02902

力武 勝範 様

収入印紙

合計金額 31,476 円 (税込)

月	日	品 名	数量	単価(税込)	軽減税率	金額(税込)
		日本農産物代 和肉用~和肉用	12	2623	☐	31,476
					☐	
					☐	
					☐	
					☐	
					☐	
					☐	
					☐	
					☐	
10%対象			円(税込)(消費税)			
8%対象			円(税込)(消費税)			

4A分(=)
対象外
28,258円

※軽減税率対象品目は ☒

上記の金額確かに領収しました

令和 6 年 3 月 25 日

登録番号: T8300005004074



伊万里市農業協同組合

取扱者印



領収書

力武 勝範

様

2024 年 3 月 22 日

伝票No. 205-

5

〒 849-0925

佐賀県佐賀市

八丁畷町 8 番 1 号

佐賀総合庁舎 4 階

全国農業新聞佐賀県支局

一般社団法人佐賀県農業会

全国農業新聞購読料 令和05年04月 ~ 令和06年03月 分を
下記の通り領収致しました。

領収額 金 8,400 円也

当期請求額(円)(税込)	請求総額(円)(10%対象)	内消費税額(円)
8,400	8,400	763

(領収額明細)

品名	年月	部数	単価	金額	備考
全国農業新聞購読料	R05年 04月	1	700	700	
	R05年 05月	1	700	700	
	R05年 06月	1	700	700	
	R05年 07月	1	700	700	
	R05年 08月	1	700	700	
	R05年 09月	1	700	700	
	R05年 10月	1	700	700	
	R05年 11月	1	700	700	
	R05年 12月	1	700	700	
	R06年 01月	1	700	700	
	R06年 02月	1	700	700	
	R06年 03月	1	700	700	

→対象外

備考

--

広 報 費

(支出明細書)

広 報 内 容	議会活動報告		
実施年月日	令和5年7月26日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活 動 報 告 費 会 費	会場借上料		
	人 件 費		
	茶 菓 子 代		
	そ の 他		
印 刷 費 等	印 刷 代	35,640	1,800部 /
	コ ピ ー 代		
	用 紙 代		
	消 耗 品		
	そ の 他		
郵 送 代	封 筒 代		
	は が き 代		
	切 手 代	22,741	/
そ の 他			
合 計		58,381	/

A-ONE

領 収 証

№ 009008

令和 5 年 7 月 26 日

力武 勝範 様

金 額 | | | 1 | 3 | 5 | 6 | 4 | 0 |

上記の金額正に領収いたしました。

但し 決済活動報告印刷代々

現金	レ
小切手	
手形	
相殺	

印紙
5万~100万以下 500円
100万~300万以下 300円
300万~3000万以下 200円



株式会社 工一

〒849-4271 佐賀県伊万里市東山

TEL 0955-2

FAX 0955-2

領収書

力武 勝範 様

[別納引受]		
第一種定形		
084	103通	¥8,652
小計		¥8,652
郵便物引受合計通数	103通	
課税計(10%)	¥8,652	
(内消費税等)	¥786	
非課税計	¥0	
合計		¥8,652
お預り金額		¥10,002
おつり		¥1,350



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2023年 7月31日 11:44
発行No. 230731A2641 端N03箱01
連絡先: 伊万里中里郵便局
TEL: 0955-23-5497

領収書

力武 勝範 様

[別納引受]		
区内特別基(定)		
073	193通	¥14,089
小計		¥14,089
郵便物引受合計通数	193通	
課税計(10%)	¥14,089	
(内消費税等)	¥1,280	
非課税計	¥0	
合計		¥14,089
お預り金額		¥14,089



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2023年 7月31日 11:13
発行No. 230731A7238 端N90箱01
連絡先: 伊万里大久保郵便局
TEL: 0955-28-0500



伊万里市議会議員 力武かつのり 議会活動報告

<発行／編集>

力武勝範（伊万里市議会議員）

〒848-0035

伊万里市二里町大里乙 1182 番地 1

Tel. 0955-22-3639

E-mail: gg822@ihn.jp

本年度2つの特別委員会を設置 市民会館跡地検討特別委員会

市民会館跡地については、これまでも公共施設調査特別委員会を設置し検討してきた経緯があります。その後具体的な方向性が見えてこない中、市中心部の要所としての市民の関心も高く、市民の皆様の見解や要望等を聴きながら、多くの市民に利用していただけるような施設等について協議・検討し提言します。

議会活性化特別委員会

これまでも議会基本条例を制定し、よりよい議会を目指し不断の努力を重ねてきておりますが、これまで以上に市民から信頼される議会とするためには不変的改革が必要であり、更なる活性化に向けた協議検討を行い、改革を進めていきます。

子ども食堂開催

6月18日（日曜日）に、東山代コミュニティセンターにて、NPO法人のいちご会とボランティアスタッフによる「子ども食堂」を開催しました。

毎月第3日曜日に、市のコミュニティセンターを借りて開催していますが、諸都合により休止する時もあります。7月16日には伊万里コミュニティセンターで開催します。



子ども食堂は、市内の事業者、お寺、農家、食品会社など様々な方からの食品寄付とボランティアスタッフにより運営されています。

米・野菜や加工食品・中学校の制服や子供服等お譲りいただけるものがありましたら、ご連絡お待ちしています。こちらからお伺いいたします。

のいちご会(0955-22-3424)

力武勝範(090-5926-2833)

再度 議会選出監査委員に就任

令和3年度から2年間、議会選出監査委員（議選監査）を務め、以前から議選監査の業務が定められていなく明確でなかったため、改善策として議選監査の活動報告等を実施してきました。

今年4月の市議会議員選挙にて、再度議員として当選させていただき、2年間の議選監査の経験に基づき、さらなる監査全体の業務改善、議選監査の業務確立が必要であることから、議選監査に立候補し選任されました。引き続き市の事務や事業に対し公平普遍の態度を保持し、適切な監査業務に努めます。



力武監査委員

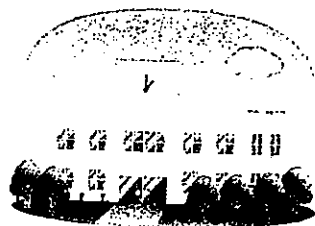
中山議長

加藤副議長

東山代小学校・コミュニティセンター 一複合施設を1年前倒しでの完成へ変更

当初計画では、国庫補助を活用し、施設等の工事期間を令和5年度から令和7年度の3年間で行う計画でしたが、補助事業の見直しにより国庫補助に該当する施設を2年間で建設することになり、当初R7年度に予定していた体育館をR6年度までに完成させるようにしました。なお、3年目には解体工事等を行い全体の工事計画に変更はありません。

（全体概算工事費 29億1,783万円）



住民税非課税世帯に対し1世帯 3万円の給付金を支給します。 (支給予定日7月末)

電力・ガス・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者のうち、特に家計への影響が大きいと考えられる住民税非課税世帯等に対して一世帯当たり3万円の支給を行います。

低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり一律5万円を給付します。

真に生活に困っている方への支援措置の強化として、低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(児童1人当たり一律5万円)をプッシュ型(申請不要)で給付します。

なお、家計急変世帯については申請が必要です。

(詳しくは子育て支援課にお問い合わせください)

市内肥育牛農家に対し、1頭当たり7,500円の支援することを可決。

令和5年3月の一般質問で、「伊万里牛の産地維持について」として、伊万里市内の肥育牛農家が減少し危機的状況にあること、伊万里牛がふるさと納税に大きく寄与していることを取り上げ、市として出来る事はすべきであると提言し、5月補正予算で計上され決定しました。

令和5年4月からの学校給食費の値上げ分を全額補助

食材費等の高騰を受け、学校給食運営委員会に置いて、令和5年4月からの学校給食費が改定(値上げ)されましたが、子育て家庭の負担軽減のため値上げ分の2分に1を当初予算にて補助するようにしていました。今回の6月補正予算にて、さらに2分に1を補助するようにし、結果値上げ分全額を補助するようにしました。全額補助は、令和5年度分で令和6年度以降については未定であり、引き続き補助なされるよう協議を重ねます。

伊万里政策研究クラブ 活動報告



改選後、新たなメンバーを募集し9名が加入され、14名のクラブ員となりました。議員個々の研鑽と議会の政策形成機能向上のため、これからも気付き、学び、議論して参ります。

6月定例会での一般質問

持続可能な農業政策について

質問：伊万里市の農業が持続可能な農業にするためには、担い手育成、農地の集積・集約化を地域で話し合い、人・農地プランにおける地域計画策定が必要となる。今後の体制につて。

答弁：今年度法定化された地域計画の策定を進める中、地域の担い手となる中心経営体への農地の集積・集約化や10年後の目指すべき将来の農地利用について話し合い、国、県などの制度事業をできるだけ活用しながら、集落活動を支援するとともに、今後の地域農業を担う若手農業者の確保に努める。

ICT教育の進捗状況について

質問：すべての家庭でオンライン学習ができるように、貸与型のモバイルルーター整備が必要であるがどのような状況か。

答弁：今年度中にモバイルルーターの整備を進める

質問：校務支援システムで特別支援児童生徒の情報管理はできないのか。

答弁：現在市内6校で、別の支援システムを試験導入し検証している。

保育園児による「アユの放流体験」事業を実施しました

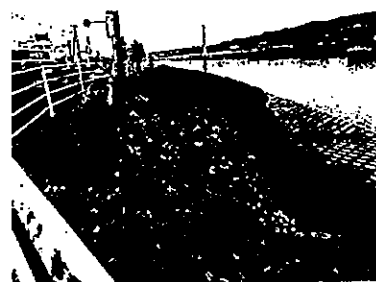
二里町元気なまちづくり推進協議会では、毎年伊万里西ロータリークラブ様の協賛を得て、有田川で保育園児によるアユの放流を行っており、今年も5月16日に大里保育園児による放流を行いました。



有田川の環境美化活動

6月4日(日曜日)は、佐賀県環境の保全と創造に関する条例に基づく「環境美化県民行動の日」で、6月の「環境月間」にも合わせて、県民・事業者・行政が一体となって「県内一斉ふるさと美化活動」が実施されています。

二里町なんとかしゅう会においても、毎年有田川右岸の川西橋から大里大橋間の河川法面の草刈りを実施しています。



広 報 費

（支出明細書）

(支出明細書)

広 報 内 容	議会活動報告		
実施年月日	令和6年1月19日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活 動 報 告 費 会 費	会場借上料		
	人 件 費		
	茶菓子代		
	そ の 他		
印刷費等	印 刷 代	35,640 /	1,800部 /
	コピー代		
	用 紙 代		
	消 耗 品		
	そ の 他		
郵 送 代	封 筒 代		
	はがき代		
	切 手 代	23,398 /	
そ の 他			
合 計		59,038 /	

A-ONE

領 収 証

№ 000179

令和 6 年 1 月 19 日

力武 勝 範

様

金 額 | | | 7 | 3 | 5 | 6 | 4 | 0 | -

上記の金額正に入金いたしました。
但し 活印等印代として

内訳

10%対象額	32400	円
消費税額	3240	円
非課税対象額		円

〒849-4271

株式会社 エーワン

佐賀県伊万里市東山代町長瀬

TEL 0955-20-12

FAX 0955-20-12

登録番号

T6-3000-0100-7074

現金	✓
小切手	
手形	
相殺	

印紙
5円~100万円以下
300円
100万円~200万円以下
100円
200万円~300万円以下
500円

受領印

領収書

力武 勝 範

様

[別納引受]

第一種定形

084

103通

¥8,652

小 計

¥8,652

郵便物引受合計通数

103通

課税計(10%)

¥8,652

(内消費税等(10%))

¥786)

非課税計

¥0

△計

¥8,652

お預り d払い

¥8,652



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2024年 1月22日 14:39
発行No. 240122A3476 端N03箱01
連絡先: 伊万里中里郵便局
TEL: 0955-23-5497

<QR決済>
[支払票(売上)]

加盟店名
ニッポンカピソ
TEL 0955-23-5497

伝票番号 01890
ブランド d払い
端末番号 71134-620-76615
加盟店取引番号

ご利用日 71134620766150001890
2024/01/22 14:39:15

金額

¥8,652

お客様控え

領収書

力武 勝 範

様

[別納引受]

区内特別基(定)

073

202通

¥14,746

小 計

¥14,746

郵便物引受合計通数

202通

課税計(10%)

¥14,746

(内消費税等(10%))

¥1,340)

非課税計

¥0

△計

¥14,746

お預り金額

¥20,000

おつり

¥5,254



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2024年 1月22日 13:52
発行No. 240122A7775 端N90箱01
連絡先: 伊万里大久保郵便局
TEL: 0955-28-0500



伊万里市議会議員 力武かつのり 議会活動報告

<発行/編集>

力武勝範（伊万里市議会議員）

〒848-0035

伊万里市二里町大里乙 1182 番地 1

Tel. 0955-22-3639

E-mail: gg822@ihn.jp

議会報告

*国見台体育館と武道館を統合した複合体育館の建設検討に着手

国見台公園の体育館（築後 51 年経過）と武道館（築後 43 年経過）が老朽化しているため、総合的整備に向けた検討を行うための先進地視察の経費が補正予算として計上され、具体的検討に入ります。

*議案質疑で、国見台武道館の天井照明の電球取り換え作業が早期に実現

以前から武道館の天井照明の電球が切れている箇所が多数あると指摘していたが、予算の都合で取り換えできていなかった。「電球の取り換え予算」と「先進地視察の予算」どちらが優先されるべきか問いました。質問を受けて、担当部署により 12 月中にすべて取り替えられました。



*選挙の投票時間を 2 時間繰り上げることに決まりました。 (午後 8 時まで→午後 6 時まで)

令和 7 年夏に予定されている参議院議員選挙から実施されます。

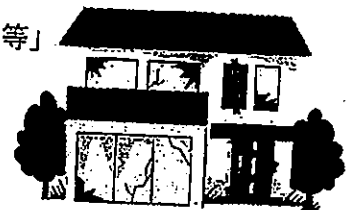
*期日前投票所の増設については、場所、日数等詳細について、参議院議員選挙までには決定されます。
*投票立会人=13 時間、期日前投票立会人=11 時間 30 分と従事時間が長すぎるとの要望から、半日交代制を実施します 投票日当日 7:00~13:30~20:00 期日前投票 8:30~14:15~20:00 次回選挙から実施します。

*伊万里市議会の会派制の見直し！連合会派を廃止！1人では会派としない！

会派制についての要綱では、2 人以下の会派が集まり連合を組むことで 3 人以上となれば、連合会派として議会議事運営委員会へ委員を選出することができる。また、1 人でも会派を結成できるとされていた。見直しの結果、連合会派を廃止し、会派は 2 人以上とし、1 人では会派と認めない（必ずしも会派に属さなければならぬ）ということではなく、1 人の場合は会派に属さない議員となります。）

空家は放置すればするほど損をします

空き家等対策の推進に関する特別措置法が改正され、放置すれば「特定空き家等」になる恐れのある空き家等を、市が「管理不全空き家等」と位置付け、所有者等へ「指導」「勧告」ができるようになる。「勧告」を受けた「管理不全空き家等」の敷地（200 ㎡以下）に係る固定資産税の住宅用特例（6 分の 1 に減額）が解除され、固定資産税が増加します。



特定空き家に指定されると、自治体から所有者に対し修繕などの措置を行うよう助言、指導、勧告、命令が行われます。命令に従わない場合には、50 万円の過料が科せられます。さらに、命令を受けても改善が見られない場合、行政代執行の方法によって強制執行が行われ、建物が解体されその費用は自治体が所有者に請求します。（空き家対策にかかる支援事業が受けられず結果的に所有者の損が大きくなります）

研修会参加



*10月25日・26日「全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州」に参加

*大正大学教授兼地域構想研究所長の片山善博先生の講演
「躍動的でワクワクする市議会に」

*パネルディスカッションでは、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」、
「議員のなり手不足問題への取組報告」について。参加者3名（盛議員、木寺議員）

所感＝議員としての資質の向上がなければ、議会・議員に対する信頼は向上
しないと思われます。そのためには、議会として政策や議案に対する勉強会
を、積極的に実施する必要がある。

行政視察報告

議会運営委員会(11月14日～16日)知立市議会、岩倉市議会、奈良市議会 視察項目:積極的な議会運営(議会改革)について

愛知県の知立市議会では、常任委員会での所管事務調査が積極的に行われている。
岩倉市議会では、市議会サポーター制度を導入し、市民からの積極的な意見を取り入れ、信頼される議会運営がなされている。また奈良市議会においては、伊万里市議会でも検討している予算決算常任委員会をすでに設置されている。



岩倉市議会議場にて

議会活性化特別委員会(11月6日:古賀市議会・11月17日:中津市議会)

議会の見える化(信頼される議会運営)について

広報広聴委員会(10月23日・24日)

多久市議会・宮崎市議会

議会出前講座や議会でのSNSでの情報発信等

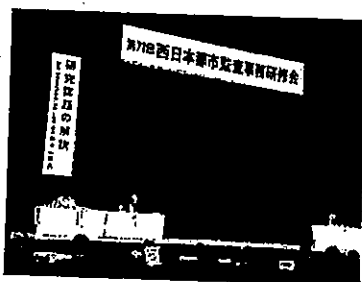
まちづくり活動

*「九電みらい財団」から助成を受け「二里町キッズキャンプ」を実施しました。

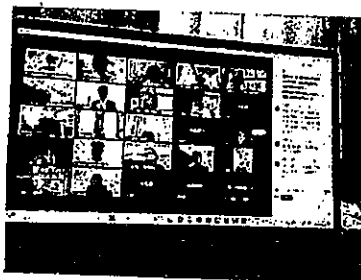
公益財団法人「九電みらい財団」が実施している「環境分野の次世代育成支援活動助成事業」に「二里町キッズキャンプ」の取り組みで応募し、伊万里市では初めての助成対象となり、テント等を購入できました。
大里八幡宮広場にて、武雄市出身の女性鷹匠「石橋美里」さんによる鷹のフライングショーを実施し、2日目があいにくの雨の予報で、コミセンの講堂にテントを張ってのキャンプでしたが、親子でとても楽しく過ごされました。



監査報告



11月21日～22日「西日本都市監査事務研修会」(大分県大分市で開催)に参加



10月30日自治体監査と議会選出監査委員を活かすための実践オンライン研修会に参加

定期監査報告

11月11日から19日の間に、小・中学校監査を実施しました(大坪小、立花小、大川内小、二里小、東山代小、山代西小、山代東小、伊万里中、国見中、山代中)
議選監査として特に、施設の管理状況、毒物劇物取り扱い状況を主に監査しました。不適切と思われる点については、適切な指導助言を行いました。

*1月9日から19日

建設農林部の定期監査を実施します

■議会関係での所属委員会等

- ・議会選出監査委員(令和3年度～)
- ・議会運営委員会委員(令和5年度～)
- ・議会活性化特別委員会(令和5年度～)
- ・広報広聴委員会委員(令和5年度～)
- ・伊万里・有田消防組合議員(令和5年度～)
- ・松浦川改修期成会委員(令和5年度～)
- ・林道烏帽子岳線開設促進期成会会長(令和5年度～)

子ども食堂のボランティア活動報告

毎月第三日曜日に、市内コミュニティセンターを巡回して開催しています。

米・野菜や加工食品・子供服等お譲りいただけるものがありましたら、ご連絡お待ちしています。

のいちご会(080-4692-3874)

力武勝範(090-5926-2833)

様式第5号・その9（第7条関係）

（年間分）

そ の 他 の 経 費

（支出明細書）

項 目	内 容	金 額 (円)
通 信 費	携帯電話料	
	インターネット関連費用	年額 40,700 円×50 % = 20,350円
	タブレット型端末通信料	
合 計		20,350円

【携帯電話料明細】

月	支出額	支出額の1/2	対象経費
4月		0	0
5月		0	0
6月		0	0
7月		0	0
8月		0	0
9月		0	0
10月		0	0
11月		0	0
12月		0	0
1月		0	0
2月		0	0
3月		0	0
計	0	0	0

備考 対象経費は、支出額の1/2とする。ただし、その額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとし、月額3,000円を限度とする。

848-0035

伊万里市二里町大里乙1182-1

力武 勝範 様
(110483901)

入金状況のお知らせ

お支払い日	商 品 名	お支払い金額	備 考
2023年05月01日	インターネット利用料	¥4,070	2023年4月分 → 対象外
2023年05月31日	インターネット利用料	¥4,070	2023年5月分
2023年06月30日	インターネット利用料	¥4,070	2023年6月分
2023年07月31日	インターネット利用料	¥4,070	2023年7月分
2023年08月31日	インターネット利用料	¥4,070	2023年8月分
2023年10月02日	インターネット利用料	¥4,070	2023年9月分
2023年10月31日	インターネット利用料	¥4,070	2023年10月分
2023年11月30日	インターネット利用料	¥4,070	2023年11月分
2024年01月04日	インターネット利用料	¥4,070	2023年12月分
2024年01月31日	インターネット利用料	¥4,070	2024年1月分
2024年02月29日	インターネット利用料	¥4,070	2024年2月分
	合 計	¥44,770	

貴殿よりご要望のあった当社に対する利用料金の
入金状況は、上記のとおり相違ありません。

2024年3月15日

伊万里ケーブルテレビジョン 株式
伊万里市立花町1542番地8
TEL 0955-22-3506

